

台風第10号に関する 広島地方気象台と中国地方整備局 による合同説明会 ～災害に備えるために～



国土を**整**え、
国土交通省
中国地方

国土交通省



気象庁
Japan Meteorological Agency

令和2年9月4日(金)

広島地方気象台

台風第10号

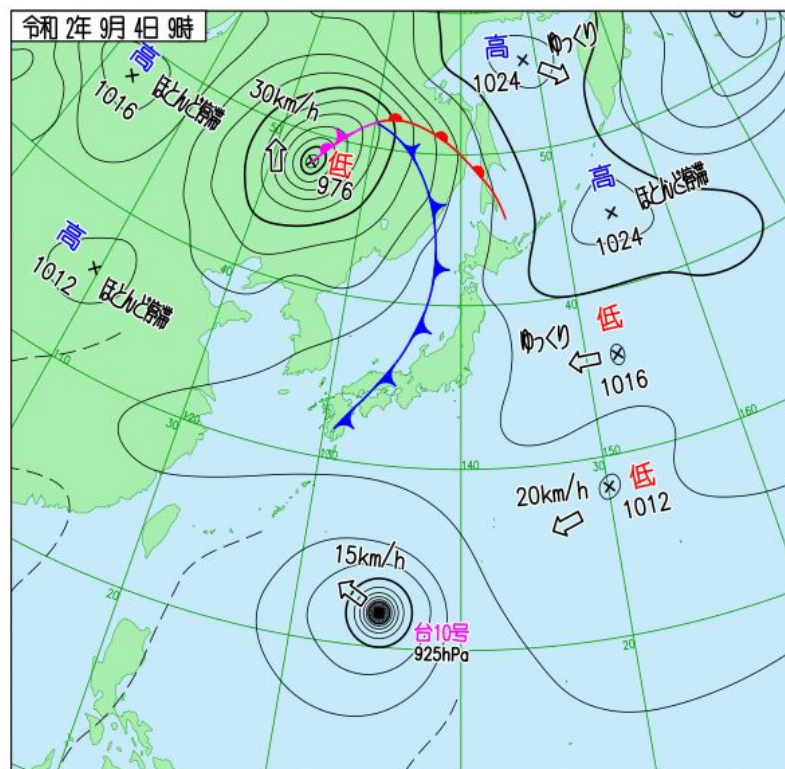
合同記者会見資料



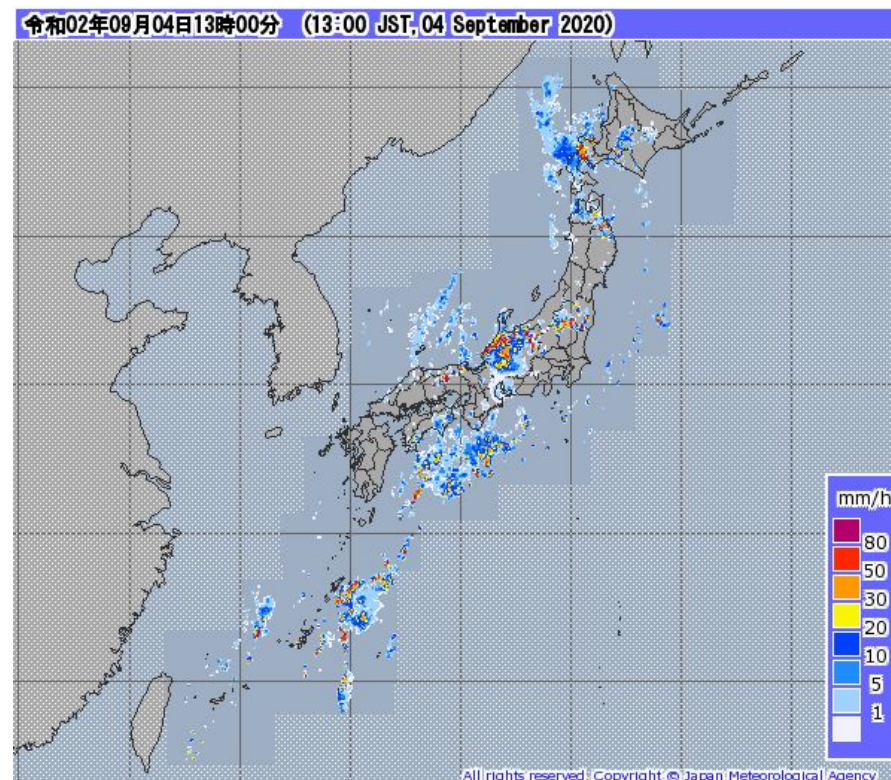
令和2年9月4日（金曜日）15時

広島地方気象台

実況の地上天気図とレーダー



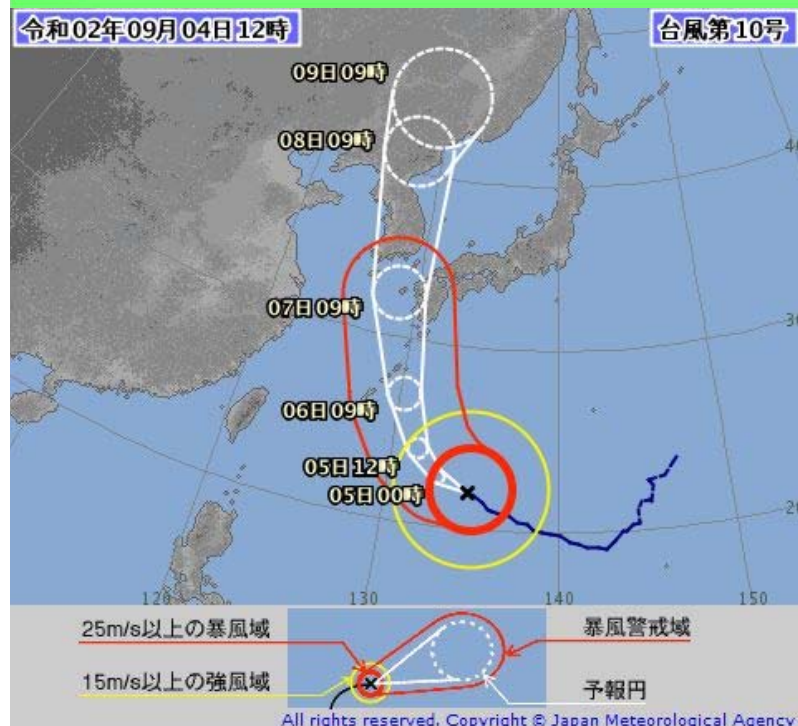
4日9時 地上天気図



4日13時 レーダー観測

- 非常に強い台風第10号は、日本の南の海上を毎時15kmで西北西に進む。
- 今後、次第に北寄りに進路を変え、さらに勢力を強めながら北上し、6日から7日にかけて西日本に接近または上陸のおそれ。
- 台風は、7日に最も近づく見込み。

台風の進路予想



<04日12時の実況>

大きさ	-
強さ	非常に強い
存在地域	日本の南
中心位置	北緯 22度00分(22.0度) 東経 134度40分(134.7度)
進行方向、速さ	西北西 15km/h(8kt)
中心気圧	925hPa
中心付近の最大風速	50m/s(100kt)
最大瞬間風速	70m/s(140kt)
25m/s以上の暴風域	北東側 280km(150NM) 南西側 220km(120NM)
15m/s以上の強風域	北東側 500km(270NM) 南西側 440km(240NM)

最大風速は
50m/s
最大瞬間風速は
70m/s

<05日00時の予報>

強さ	猛烈な
存在地域	沖大東島の南東約260km
予報円の中心	北緯 22度40分(22.7度) 東経 132度55分(132.9度)
進行方向、速さ	西北西 15km/h(9kt)
中心気圧	920hPa
中心付近の最大風速	55m/s(105kt)
最大瞬間風速	75m/s(150kt)
予報円の半径	45km(25NM)
暴風警戒域	北東側 320km(175NM) 南西側 270km(145NM)

最大風速は
55m/s
最大瞬間風速は
75m/s

<06日09時の予報>

強さ	猛烈な
存在地域	南大東島の北西約160km
予報円の中心	北緯 26度55分(26.9度) 東経 130度10分(130.2度)
進行方向、速さ	北北西 15km/h(9kt)
中心気圧	915hPa
中心付近の最大風速	55m/s(110kt)
最大瞬間風速	80m/s(155kt)
予報円の半径	110km(60NM)
暴風警戒域	全域 350km(190NM)

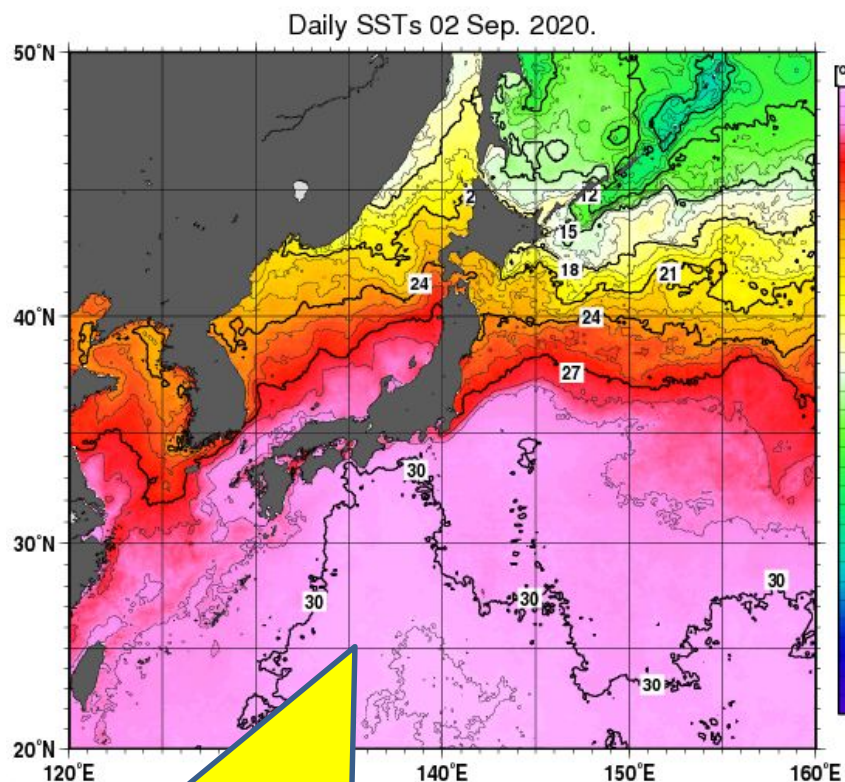
最大風速は
55m/s
最大瞬間風速は
80m/s

<07日09時の予報>

強さ	非常に強い
存在地域	九州の西
予報円の中心	北緯 32度35分(32.6度) 東経 128度35分(128.6度)
進行方向、速さ	北 30km/h(15kt)
中心気圧	940hPa
中心付近の最大風速	45m/s(90kt)
最大瞬間風速	65m/s(130kt)
予報円の半径	185km(100NM)
暴風警戒域	全域 370km(200NM)

最大風速は
45m/s
最大瞬間風速は
65m/s

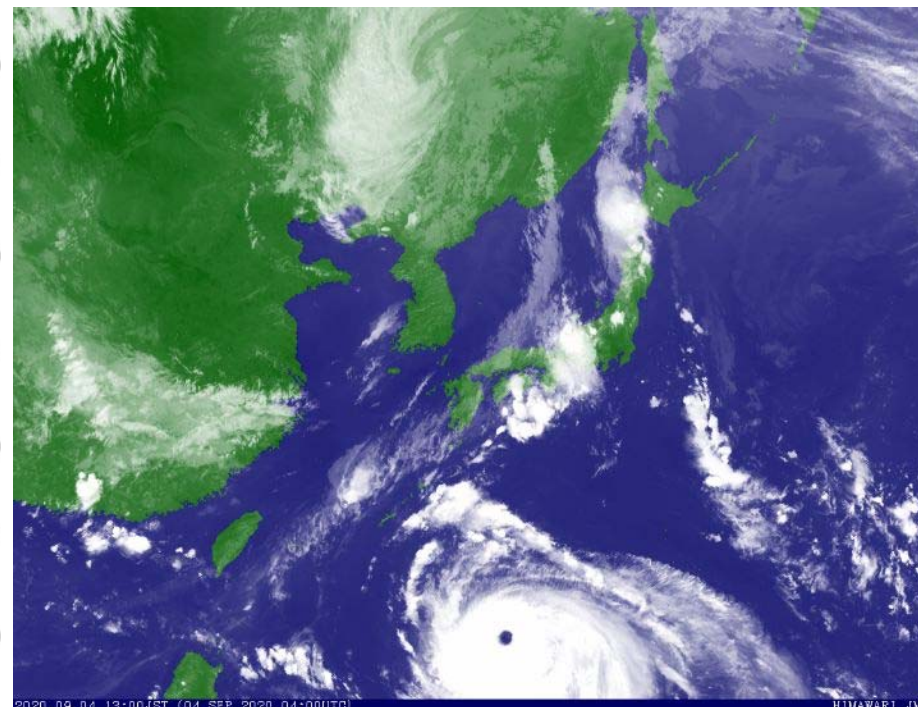
日本近海の海面水温と衛星画像



台風中心付近の海面水温は、30°C以上

日本近海の海面水温

※人工衛星とブイ・船舶による観測値から解析された海面水温



4日13時

気象衛星ひまわりによる赤外画像

【中国地方への影響】

早期注意情報（警報級の可能性）

		4日 0-24時	5日 0-24時	6日 0-24時	7日 0-24時	8日 0-24時
大雨	山陽					
	山陰					
暴風	山陽					
	山陰					
波浪	山陽					
	山陰					
高潮	山陽					
	山陰					

警報級の可能性 [高]
 警報級の可能性 [中]

※今後の台風の進路により変わる可能性もあります。気象庁ホームページ等で最新の台風情報等を参照ください。

【山口県への影響】

下関地方気象台 4日11時の台風説明会資料より

		5日	6日	7日	8日
		0-24時	0-24時	0-24時	0-24時
山口県	大雨				
	暴風				
	波浪				
	高潮				

※今後の台風の進路により変わる可能性もあります。気象庁ホームページ等で最新の台風情報等を参照ください。

台風第10号の防災事項

- 台風第10号は、7日に最も近づく見込み。
- 7日は、暴風域に入る可能性がある。風が強まる。暴風や高波に警戒。
- 満潮の時間帯を中心に、高潮に注意、警戒が必要。
- 7日は大雨になるおそれ、土砂災害、浸水害、河川の増水に注意(山口県は警戒)が必要。
- 特に、土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では風雨が強まる前の早めのタイミングでの対応が必要。
- 強風による農作物への影響も予想されるので、風雨が強まる前の早めのタイミングでの対策が必要。

暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移 (■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種類		〇〇日								〇〇日		
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
風速	風向風速 (気印・ バートル)	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10	
	海上	10	12	10	8	8	10	15	10	10		
以後も注意報級												

暴風警報

陸上では昼過ぎから
風速20メートル

〈風が強まる前の家の対策〉



平均風速 (m/s) およその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木 の様子	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていられないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯が倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40~ 約140km/h~			住家が倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。 (https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

○気象警報・注意報(大雨,洪水,暴風(雪),波浪,高潮,大雪などによる、災害のおそれを警告・注意する)

<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

○危険度分布(どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まると予測されているかを地図上に表示)

土砂災害 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
浸水害 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
洪水警報 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

大雨警報
(土砂災害)
の危険度分布



大雨警報
(浸水害)の
危険度分布



洪水警報の
危険度分布



○各地の気象情報(気象概況や大雨の見通し)

<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

○指定河川洪水予報(国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)

<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>

○土砂災害警戒情報(命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける)

<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

○最新の気象データ(高解像度降水ナウキャスト、解析雨量・降水短時間予報、雨や風の観測データ、衛星画像)

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>

<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html

<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>

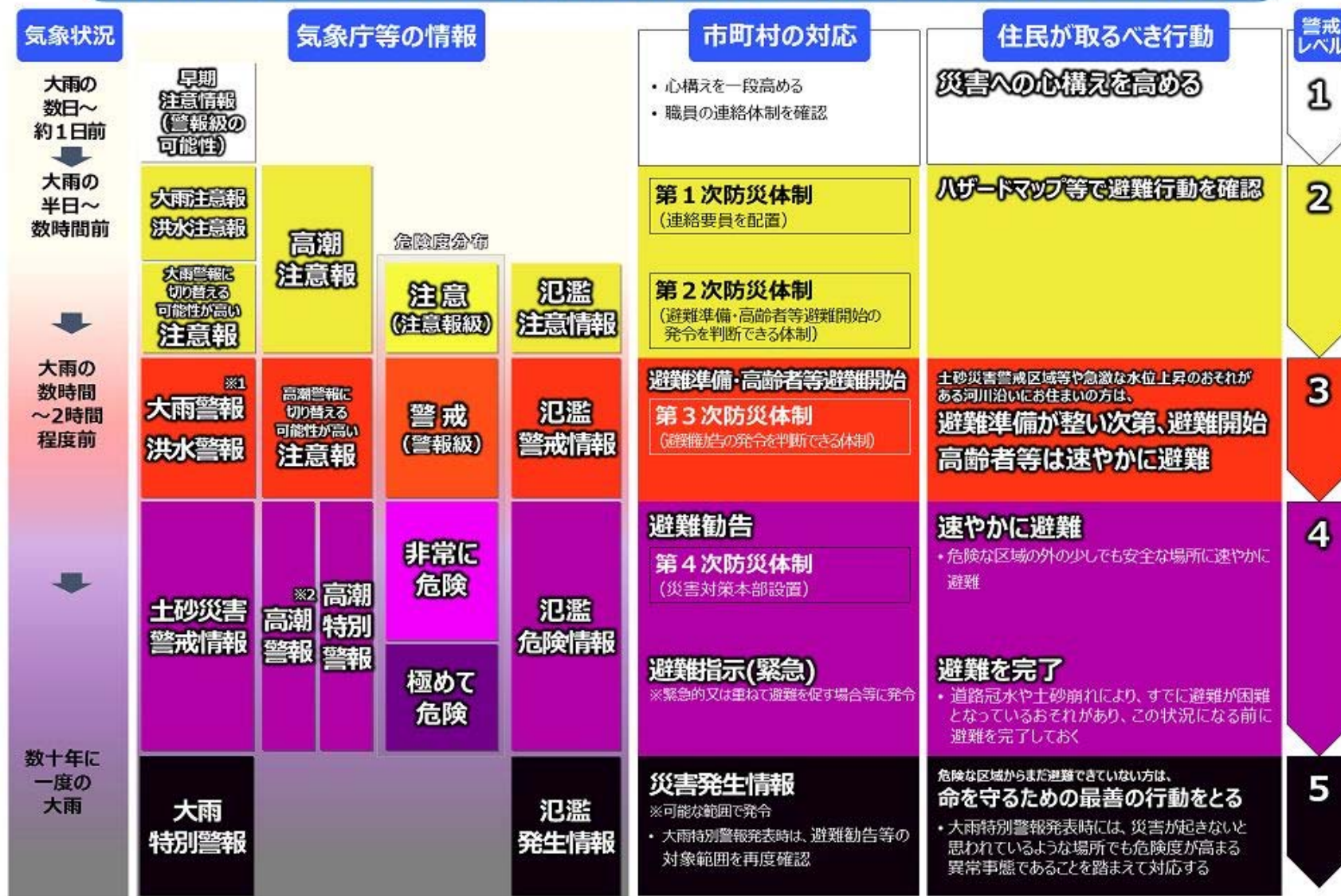
雨雲の動き



段階的に発表される防災気象情報の活用例

広島地方気象台

危険度の高まりに応じて段階的に発表される防災気象情報とその利活用



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

参考資料

台風の大きさの表

階 級	風速15m/s以上の半径
	500km未満
大型:(大きい)	500km以上～800km未満
超大型:(非常に大きい)	800km以上

台風の強さの表

階 級	中心付近の最大風速
	33m/s(64ノット)未満
強 い	33m/s(64ノット)以上 44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上 54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

災害への備え

1.家の外の備え

大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう。

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納する。



2.家の中の備え

●非常用品の確認

- ・懐中電灯 ・携帯用ラジオ(乾電池) ・救急薬品 ・衣類
- ・非常用食品 ・携帯ボンベ式コンロ ・貴重品など

●室内からの安全対策

飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。

●水の確保

断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。



災害への備え

3.避難場所の確認など

- 学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。
- 普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- 避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく。



災害・避難カード

どのような避難行動をとれば良いか、立ち退き避難をする場合にどこに行けば良いか、避難に際してどのような情報に着目すれば良いかは、お住まいの地域や想定される災害毎に異なります。

自治体から避難勧告等が発令された時に、適切な避難行動をとるため、あらかじめ想定される災害毎に右記のような「災害・避難カード」を作成し、災害に備えましょう。

災害・避難カード（例）

【〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号：避難が必要となる災害と避難方法等】

災害	避難行動	注視する情報
A川	自宅2階	A川氾濫危険情報
B川	〇〇避難場所	B川氾濫危険情報
土砂災害	△△避難場所	土砂災害警戒情報

台風等を要因とする特別警報の指標及び運用

指標

「伊勢湾台風」級（中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上）の台風や同程度の温帯低気圧。ただし、沖縄地方、奄美地方及び小笠原諸島については、中心気圧910hPa以下又は最大風速60m/s以上とする。

▶ 台風の中心が府県予報区※に達する12時間程度前に特別警報を発表。

（陸地付近が暴風域に入る前に特別警報を発表することとしているため、発表タイミングが「12時間程度前」より早まる場合もある）

その時点で予報円に入っている府県予報区※について、すでに発表されている暴風・高潮・波浪警報を特別警報に切り替える。

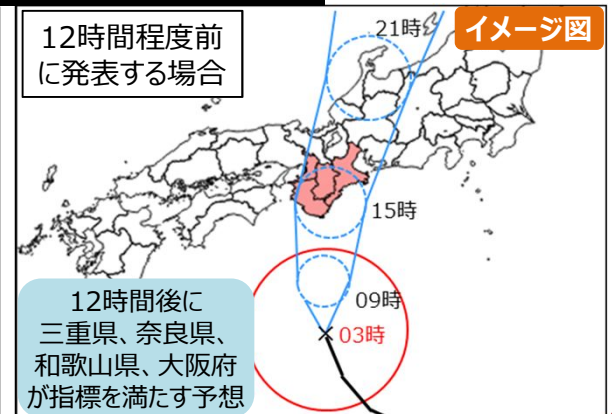
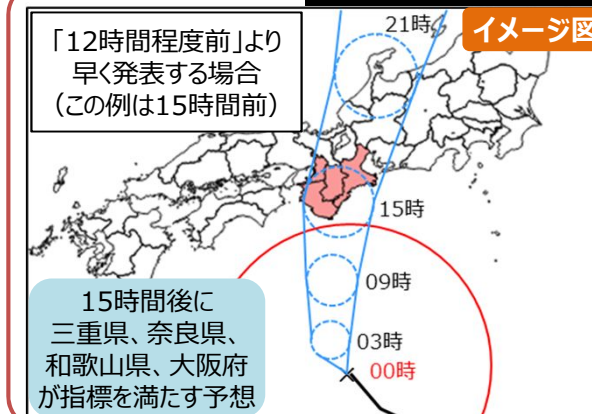
また、以降に暴風・高潮・波浪の各警報を発表する際には特別警報として発表する。

※ 釧路・根室・十勝地方では十勝地方とそれを除く地域、東京都では小笠原諸島とそれを除く地域、鹿児島県では奄美地方とそれを除く地域について、それぞれひとつの府県予報区と同等に扱う。

特別警報発表の予告（24時間程度前）



特別警報発表（原則として12時間程度前）



警報発表条件を満たす

時間の流れ

三重県、奈良県、和歌山県、大阪府における運用（暴風・高潮・波浪）

注意報

警報

特別警報

注意報

特別警報

警報発表条件を満たす

中国地方整備局

台風接近に伴う高潮や河川の増水・氾濫に警戒

- 今後、台風第10号の接近に伴い、海岸や河口付近の低平地では高潮による浸水や、大雨による河川の増水・氾濫が発生する可能性があります。
- 市町村が作成しているハザードマップなどを早いうちに確認し、浸水の可能性や避難する場所・経路等を把握するとともに、避難への備えを行ってください。
- 台風の接近する地域では、高潮や河川の増水等の際に、暴風により移動できなくなることも考えられるため、風が強くなる前に安全なところに避難するなど、早めに身の安全を確保してください。

- また、台風の接近に伴い河川においてはダムの「事前放流」を実施できる態勢に入っています。

河川によっては、大雨になる前のまだ晴天である時点から「事前放流」により河川の水量が増えることが見込まれるため、見た目の天候にとらわれずに、できるだけ河川内には留まらない・立ち入らないようにしてください。

※事前放流は、河川の水量が増える前にダムから放流して、大雨時により多くの洪水をダムに貯められるようにダムの貯水位を下げしておくことです。

- 河川の水位や危険性の情報を「川の防災情報」「危険度分布」や「ハザードマップポータルサイト」などで確認することができます。（国土交通省・気象庁等のHP参照）
- 気象・河川の情報や市町村の避難情報に留意し、早めの行動を心がけてください。

○洪水予報や河川の水位等は「川の防災情報」で確認できる。サイトは「川の防災情報」で検索できる (<http://www.river.go.jp/>)。※スマートフォンは <http://www.river.go.jp/s/>。

The screenshot shows the homepage of the '川の防災情報' website. The header includes the title '国土交通省 川の防災情報' and a navigation bar with various icons for different types of information. A red callout points to the '河川水位の情報' (River Water Level Information) section, which includes a map of Japan showing river water levels. Another red callout points to the '洪水予報の発表地域' (Flood Forecast Issuance Area) section, which shows a map of Japan with flood forecast areas highlighted. A third red callout points to the 'ダムの情報' (Dam Information) section, which shows a map of Japan with dam information highlighted. A fourth red callout points to the '浸水の危険性が高まっている河川' (Rivers with Increasing Flood Risk) section, which contains a table of rivers with high flood risk.

所在地	水系・河川名	水位 (m)
島根県松江市	斐伊川水系 中海	0.95 →
島根県松江市	斐伊川水系 左陀川	0.96
島根県出雲市	十間川水系 十間川	1.07

23:00

- 国土交通大臣又は都道府県知事が洪水浸水想定区域を指定・公表
- 「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、堤防沿いの地域等において、洪水時に家屋が倒壊するような激しい氾濫流等が発生するおそれが高い区域。
- 災害から命を守るためには、身のまわりにどんな災害が起きる危険性があるのか、どこへ避難すればよいのか、事前に備えておくことが重要。
- 国土交通省では、防災に役立つ様々なリスク情報や全国の市町村が作成したハザードマップを、より便利により簡単に活用できるようにするため、ハザードマップポータルサイトを公開中。
- この区域では、洪水時には避難勧告等に従って安全な場所に確実に立退く必要がある。

重ねるハザードマップ（平成26年6月～）

防災に役立つ様々なリスク情報を1つの地図上に重ねて表示

重ねるハザードマップ
～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～
洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

場所を入力
例：茨城県つくば市北郷1

ピクトグラムから選択

表示する情報を選ぶ

- 洪水(想定最大規模)
- 洪水(計画規模)はこちら
- 津波
- 土砂災害
- 道路防災情報

※掲載データに関する留意事項

重ねたい情報をパネルから選択

洪水浸水想定

土砂災害警戒区域等

津波浸水想定

道路防災情報

洪水浸水想定+道路防災情報

わがまちハザードマップ（平成19年4月～）

全国各市町村のハザードマップを検索

わがまちハザードマップ
～地域のハザードマップを入手する～
各市町村が作成したハザードマップをリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

すぐに見る

まちを選ぶ
都道府県 市区町村

①市区町村名を選択

②ハザードマップの種類を選択

- 洪水ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 内水ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 高潮ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 津波ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 土砂災害ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 火山ハザードマップ

洪水ハザードマップ

土砂災害ハザードマップ

津波ハザードマップ

高潮ハザードマップ

火山防災マップ

ハザードマップポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp/>

ハザードマップ

検索

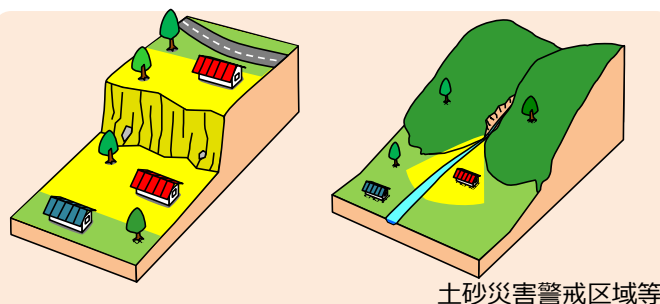


大雨による災害への備え

- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「危険度分布」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

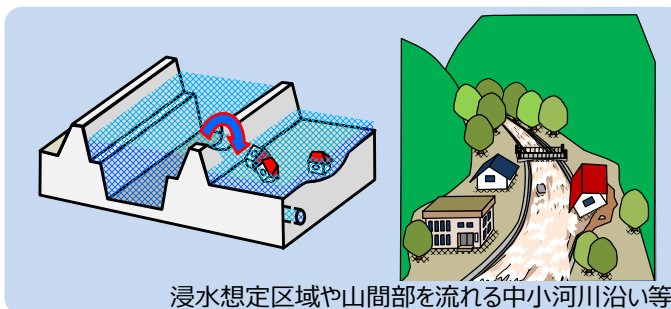
土砂災害



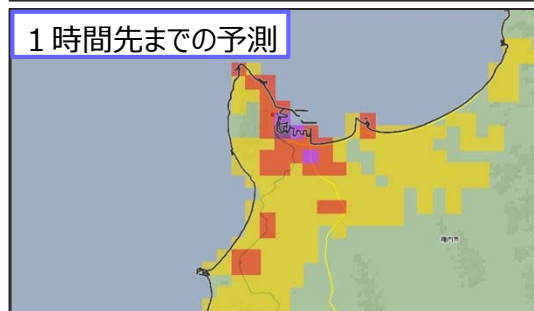
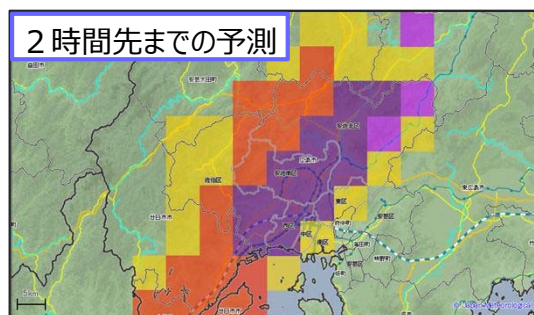
浸水害



洪水災害



危険度分布



災害の例



過去の太田川流域における台風(高潮)被害

■太田川流域においては、平成16年8月台風第16号及び平成16年9月台風第18号発生に伴う高潮により、浸水被害が発生しました。

平成16年8月台風第16号：床上浸水1戸 床下浸水16戸

平成16年9月台風第18号：床上浸水86戸 床下浸水92戸

平成16年台風第18号高潮による浸水状況



平成16年高潮による浸水状況
(広島市南区出島付近)



平成16年高潮による浸水状況
(広島市西区観音付近)

【広島県】平成16年 台風第18号浸水区域図

